

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善(例)

【学 年】 小学校第3学年

【題材名】 学級活動(2)ウ 「どうしてむし歯になるの？」 (2時間扱い)

【育成する資質・能力】

〔知識及び技能〕	〔思考力, 判断力, 表現力等〕
日常の健康(歯に関すること)といった, 自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意味を理解するとともに, そのために必要な知識や行動の仕方を身に付けることができる。	自己の生活上の課題に気付き, 必要な情報を進んで収集し, よりよい解決方法を考えて, 自己の健康(歯に関すること)を保持増進するための的確な意思決定や行動選択を行うことができる。

【主な学習活動と留意点】

前題材からのつながり: 学校生活における「けが調べ」の結果をもとに, どんなことに気を付けて生活をすればけがが予防できるかを考えた。

働かせる見方・考え方: 自己及び集団の問題として捉え, 自己実現に向けた実践に結び付けること。

段階	学習活動(時間)	留意点
つかむ	課題の把握(1) ・染め出しを行った結果について, 振り返る。	<p>日常生活を振り返り, 実態や現状を把握する場面</p> <p>☞ 染め出しの結果を提示し, 感じたことや分かったことをもとに, 日常生活を振り返る。</p>
	<p>ミュータンス菌を増やさないためには, どうしたらよいかを考えよう。</p>	
さぐる	原因の追求, 必要性の実感(1) ・顕微鏡を使って歯垢を観察する。 ・歯科衛生士の話を聞く。	<p>原因を追求し, よりよい解決方法をさぐる場面</p> <p>☞ 児童数人から歯垢を採取して, 顕微鏡で観察する。 ・モニターに映して, 全員が見ることができるようにする。 ・ミュータンス菌の怖さやミュータンス菌が増える原因などについて, 歯科衛生士から詳しく話を聞く。</p>
	見つける	<p>解決方法等の話し合い</p> <p>・ミュータンス菌を増やさないためにどうしたらよいかについて, 班の友だちと話し合う。 ・正しいブラッシング方法について知る。</p> <p>☞ ミュータンス菌を増やさないためにどうしたらよいかについて, 班の友だちと意見交換する。 ・歯磨きの仕方に着目し, 正しいブラッシング方法について, 歯科衛生士と一緒に確認する。</p>
決める	個人目標の意思決定 ・意見交換した内容や正しいブラッシング方法から, 具体的な実践方法やめあてを決める。	<p>☞ 強い意志をもって, 具体的な実践方法やめあてを決めるように促す。 ・実現可能で, 自己評価できる内容にする。 ・遠慮なく歯科衛生士に相談してよいことを伝える。</p>
事後	決めたことの実践	<p>決めたことの実践 → 振り返り</p> <p>☞ 一週間ほどの期間を決めて実践し振り返る。成果や改善点を共有し, 意欲の継続化を図る。</p>
	振り返り(短学活等で)	

日常生活へのつながり: よく噛んで食べることの大切さについて考え合い, 日常生活の中で, 自らしっかり噛んで食べることの実践につなげる。